

## 23年度 鈴鹿高専寮生保護者懇談会について

(文責 寮務主事 井上哲雄)

5月21日の寮生保護者懇談会には122組の保護者の皆さんにお越しいただき、貴重なご意見をいただくことができました。お忙しいところ、ご参加いただき有難うございました。

ご都合で参加していただけなかった保護者の皆様とともに、日頃、本校の学生寮の運営に関して、保護者の皆様から多大なご支援をいただき感謝いたしております。

ここに懇談会の内容について簡単にまとめさせていただきましたので、出席出来なかった保護者の皆様ともども、ご確認ください。

### (寮務主事挨拶・学生寮の説明)

学生課長の進行により、学生寮関係教職員の紹介のあと小職から、挨拶並びにスライドによる学生寮の現状等の説明を行いました。まず本校の学生寮では、「多くの学生が共同生活を営むことにより、**友情や寛容・互助の精神を培い、勉強や課外活動に励み、人間として成長するための支援をする教育施設「教育寮」**であることの再確認をさせていただきました。

併せて、平成23年3月の新入寮生への学生寮説明会での保護者からの質問事項への回答として、毎年、寮で防災訓練を行っており、全寮生はグラウンドに集合し、在寮確認を行うこととしていることや、集合するグラウンドも鈴鹿市防災課によれば、**極めて強固な地盤上にあるので、液状化の心配はない**こと、地震の際の伊勢湾内の津波は、3～4mと予想されるが、鈴鹿高専の場所は、海拔11～14mにあるため、先日の東日本大震災のような津波の場合でも心配はない旨回答させていただきました。

また、昨夏の猛暑に伴う寮での対策について、現在、留学生と専攻科生のいる2寮のみエアコンが導入されているが、そのため、それ以外の寮では体調を崩す学生が出たこと。それに対し、**夜10時までエアコンが効く寮食堂を開放し、勉強ができるように対応したことや朝シャワーの許可、アイスノンの大量購入**等の対策を行うことで猛暑を乗り切ったことと、合わせて抜本的な対策として、昨年度末に**各寮・各階の談話補食室にエアコンを導入した**ことについても報告をいたしました。なお、各居室へのエアコン導入については、年次計画にて順次設置していくことを検討していることについて説明をいたしました。

その他、以下の質疑応答が行われました。

### (質疑応答)

Q1 夕食の終了時間(17:30～19:30)を遅く出来ないか、あるいは、時間を遅くにならせないか?(クラブ活動などで食事時間が十分に取れない)

A1 →毎年この種の質問がございます。教育寮として、まずは**勉強時間を確保する**必要

があります。そのため寮では、日課時限を決めており、自習時間・入浴時間などの**日課時限を守る**ように指導いたしておりますので延長は難しいと思います。**19時**には、クラブが終わるようにクラブ指導教員をお願いしております。また、中間試験終了後夏休みまでは、夏時間ということで**20時**までの食事時間を延長するなど、クラブ活動への対応を行っております。

これに関し、今年で5年目の保護者から、毎年夕食の時間については議論されているが、終了時間を何時に設定しても、結局その時間にあわせて時間が足りないという状況になる。時間変更の必要がない。また、学寮は卒業後の社会人となるための準備期間と考えているとのご意見がありました。

Q2 家での生活を考えても、明るい5時30分から夕食を食べることはない。昨今の学生の生活時間を考えて、ニーズのある2時間にしてはどうか。

A2 学生のニーズは多様であり、400人寮生がいれば400の要望がありますので、それぞれの要望に応じるのは難しい。決められたルールの中で学生自身が工夫をして学生寮での生活を送るようにして欲しい旨、お願いいたしました。

寮生にとっては、すこし窮屈に思えるかもしれませんが、23年度は「**ルール（規則）順守!**」をモットーに学生寮を運営していく所存でございます。

保護者の皆様のご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

ご意見、ご要望は 寮務主事 井上 までお願いします。

電 話：059-368-1734（寮事務室）

メール：inouet@mse.suzuka-ct.ac.jp